

立命館宇治中学校・高等学校

IBディプロマ授与式を行いました

3月1日(土)、IBディプロマ授与式が行われました。2年間のIBDPの厳しい課程を修了した3年生31名に対して校長から修了証が渡されました。既に4名の生徒が海外の大学進学に向け出国しているため、オンラインでの参加でした。一人ずつ証書が授与されたあと、担任の先生の指示で、帽子のタッセルの位置を右から左に移動させ、新しいスタートへの準備を完了しました。最後は時計台の前で、3年生全員で大空に向かってハットスをを行い、家族や教職員から暖かい拍手で祝福されました。



立命館慶祥中学校・高等学校

国公立大医学部現役合格者数全国9位にランクイン！

4月21日(月)発売のAERAに「医学部に強い123高校」の特集記事が掲載されました。その記事の中で、立命館慶祥高校は、国公立大医学部医学科に現役32名が合格し、全国9位にランクインしました。主な国公立大現役医学部合格者数は、東京大学理科三類2名、北海道大学5名、東北大学2名、札幌医科大8名、旭川医大7名、神戸大1名などです。

【私立高校】国公立大医学部医学科 現役合格者数ランキング

| 順位 | 学校(所在地)     | 現役合格数 | 前年増減 | 現役+浪人 | 前年増減 | 卒業生数 | 現役合格率 | 前年現役 | 前年合計 |
|----|-------------|-------|------|-------|------|------|-------|------|------|
| 1  | 東海(愛知)      | 58    | 1    | 104   | -6   | 379  | 15.3% | 57   | 110  |
| 2  | 東大寺学園(奈良)   | 43    | 13   | 66    | 20   | 200  | 21.5% | 30   | 46   |
| 3  | 久留米大附設(福岡)  | 41    | -8   | 56    | -18  | 204  | 20.1% | 49   | 74   |
| 4  | 洛南(京都)      | 37    | -12  | 60    | -10  | 401  | 9.2%  | 49   | 70   |
| 5  | 開成(東京)      | 36    | 0    | 64    | 11   | 396  | 9.1%  | 36   | 53   |
| 5  | 灘(兵庫)       | 36    | 2    | 56    | -14  | 214  | 16.8% | 34   | 70   |
| 7  | 甲陽学院(兵庫)    | 35    | 10   | 59    | 16   | 199  | 17.6% | 25   | 43   |
| 8  | 西大和学園(奈良)   | 33    | 18   | 53    | 22   | 362  | 9.1%  | 15   | 31   |
| 9  | 立命館慶祥(北海道)  | 32    | 13   | 36    | 13   | 301  | 10.6% | 19   | 23   |
| 10 | 滝(愛知)       | 31    | 9    | 59    | 11   | 367  | 8.4%  | 22   | 48   |
| 11 | 桜蔭(東京)      | 30    | -12  | 39    | -11  | 223  | 13.5% | 42   | 50   |
| 12 | 四天王寺(大阪)    | 29    | 2    | 42    | 0    | 473  | 6.1%  | 27   | 42   |
| 13 | 豊島岡女子学園(東京) | 27    | 1    | 37    | 1    | 249  | 10.8% | 26   | 36   |
| 14 | 海城(東京)      | 25    | -8   | 34    | -13  | 306  | 8.2%  | 33   | 47   |
| 14 | 青雲(長崎)      | 25    | 2    | 44    | 7    | 198  | 12.6% | 23   | 37   |

立命館中学校・高等学校

MESE選手権「知の甲子園」三連覇 全国優勝&1-2-3独占！

2月16日(日)、東京都千代田区のSAPジャパン本社において開催された2024年度 第27回MESE(ミース)選手権大会「知の甲子園」(主催 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本・特別協賛 SAPジャパン株式会社)決勝戦において、高校2年生 藤田来瑠未さん・田島凜乃さんペアが見事全国優勝を果たしました。本校としても一昨年度・昨年度に続き大会三連覇(3年連続1位から3位を独占)を達成しました。



立命館守山中学校・高等学校

サッカー部滋賀県初優勝、インターハイ出場！

高校サッカー部は、3連覇を狙う強豪・近江高校を相手に3対2で勝利、滋賀県初優勝を決めました。7月26日(土)から、福島県双葉郡楢葉町にあるJヴィレッジを中心に開催された全国高校総合体育サッカー競技大会へ、本校サッカー部は初出場しました。結果は1回戦を勝利で飾りましたが、次の2回戦で敗退となりました。全国の厳しさを体感し、心技体のすべての基準を上げて普段から取り組まなければ追いつけない現実を知りました。この経験で、チームがもう一段レベルアップしてくれることを期待したいと思います。



立命館小学校

ルクセンブルク合唱団との万博出演・交流

万博初日である4月13日(日)に、オープニングイベントとして、ルクセンブルクの男声合唱団「プエリ・カントーレス」と本校合唱部とのコラボレーションステージが行われ、会場には美しいハーモニーが響き渡りました。さらに翌日は、来日した合唱団の児童・生徒37名が、本校の児童とともに1日を過ごしました。各クラスに分かれて日本の学校生活を体験し、音楽、英語、体育などの授業を通じて、言葉の壁を越えた笑顔とふれあいが広がりました。



BOOKS FOR BOOKS

～立命館の本活～

読み終えた本の買取額を寄付金として活用し、新しい図書の購入に役立てる古本募金活動を2013年度より実施しています。

実績

374,960冊(10,137,968円) / 7,899名

2013年4月～2025年8月

ご寄付のお礼とご報告

DONORS NEWSLETTER 2025



立命館





立命館は今年、創立125周年。  
デザイン・アートの学部・大学院を 2026年4月新設！

Futurize. **125**  
RITSUMEIKAN ANNIVERSARY

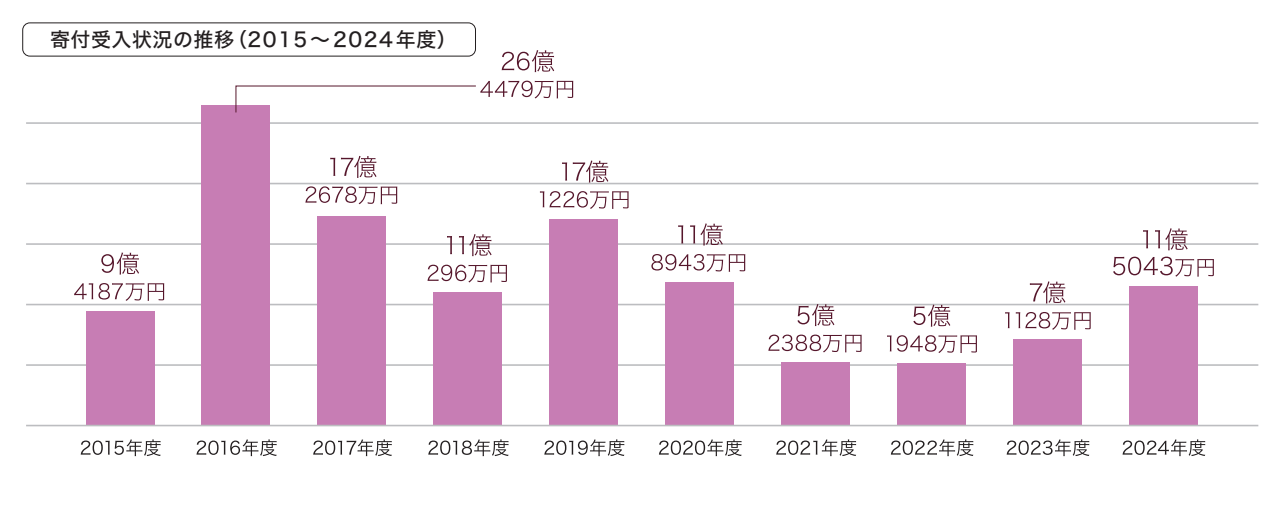




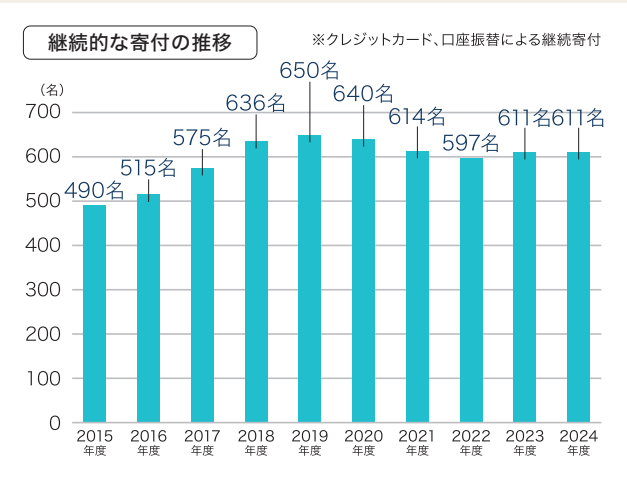
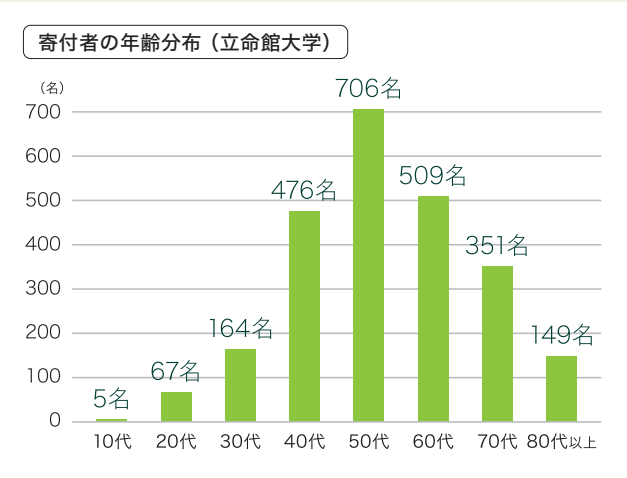
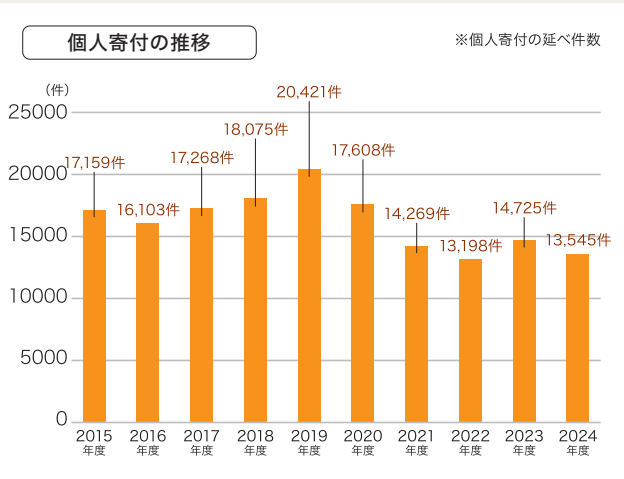
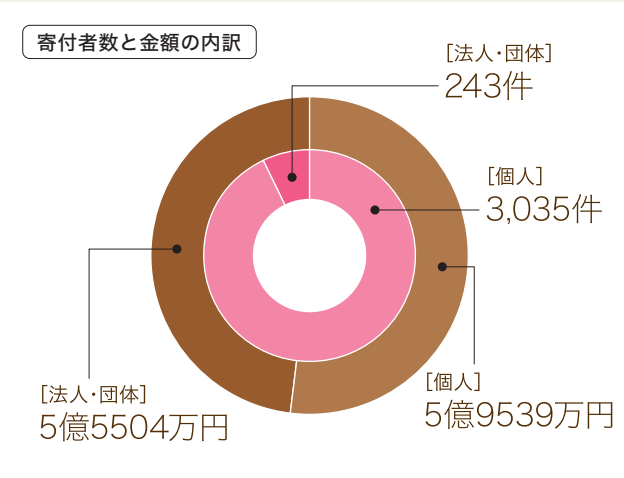
# 2024年度実績報告

皆様からいただきましたご支援についてご報告させていただきます。2024年度は総額約11.5億円の温かいご支援を頂戴しました。

## [寄付金額の推移]



## [2024年度 寄付受入状況]



# 立命館創始155年・学園創立125周年 (2025年の主な取り組み)

## 文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択 ～リアル・バーチャル時代のウェルビーイングと公正な社会を実現する新領域「身体圏」研究拠点～

立命館大学は、文部科学省が公募する令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」※に採択されました。

※令和4年度第2次補正予算

J-PEAKSは、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して、日本全体の研究力を向上させ、研究大学群の形成を推進することを目的に設置されたものです。地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携や研究活動の国際展開、社会実装の加速などにより大学全体の研究力強化を推進します。

本学は、「R2030 立命館大学チャレンジ・デザイン」の実現に向け、強みであるスポーツ健康科学を核とする「身体圏」という新学術領域の創生に挑戦します。過去20万年にわたり、リアルな世界で適応・進化を続けてきた人類は、リアルとバーチャルが高度に融合した「多重環境化社会」においていかに発展していくかという人類史的課題と新たな未来創造の機会に直面しています。びわこ・くさつキャンパスにおいて2025年7月に竣工した新施設「立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ」(通称: CVIC・シビック)に、多重環境を生み出す設備群と、それによる生体・心理への影響を測定する設備群をそろえて身体圏研究を推進することで、誰もがやりたい自己を実現でき、ウェルビーイングを追求できる公平な社会の実現を目指します。

本学は、「自由と清新」の建学の精神のもと、国内最大規模の私立総合学園として常に改革を実行してきました。研究においては、1995年に大学初の産学連携窓口「リエゾンオフィス」の設置を皮切りに30年間にわたる研究力向上戦略を推進してきました。本事業では、これらの改革の実績に基づき、これまでの知識伝達が中心の教育大学から、研究が教育をけん引し、研究・人材輩出によって地球規模課題の解決に貢献する次世代研究大学へと飛躍を遂げます。



CVICに整備するクロスバースアリーナのイメージ



## 衣笠アートヴィレッジ フェスティバルを初開催

6月1日(日)、立命館大学衣笠キャンパスおよび衣笠周辺エリアにて「衣笠アートヴィレッジ フェスティバル」を開催しました。当日は地域の皆さまをはじめ、小さなお子様連れのご家族からご年輩の方まで、およそ12,000名もの方々に越しいただき、キャンパス内外70を超えるアート企画やパフォーマンスなどをお楽しみいただきました。衣笠キャンパスでは、アートをテーマとした多くの作品を執筆されている原田マハ氏と、ARTISTS' FAIR KYOTOなどをプロデュースする高岩シュン氏によるアート対談をはじめ、日本・世界を舞台に活躍される方々をお招きしたアートイベントや、ヘラルボニーによるアートエキシビション、2026年度に開設予定のデザイン・アート学部/研究科に関連した企画などが行われました。



### 立命館大学の4つの改革

- 研究力改革**: 社会構造の大転換期に立ち向かう「次世代研究」モデルの実現
- 博士力改革**: 学際性・社会実装力・社会包摂性を兼ね備えた博士アントレプレナーの育成
- 社会実装力改革**: スタートアップ創出による社会課題解決と社会的インパクトの創出
- 財政力改革**: 大学独自投資ファンドを核とする大学財政基盤の強化、研究再投資の拡大



# 学生の活躍

## アメリカンフットボール部

### 9度目の日本一に！

2024年12月、立命館大学パンサーズは甲子園ボウルで法政大学を45-35で下し、9年ぶりの日本一に振り返きました。歓喜の瞬間からわずか数ヶ月、2025年度シーズンは2年目の新監督・高橋健太郎のもとで始動。春季大会では若手の台頭が目立ち、チームは勢いそのままに秋のリーグ戦でも連勝を重ねています。悲願の連覇に向け、再び甲子園を目指す戦いが始まりました。



## 国家公務員総合職試験

### 合格者数62人で西日本私大1位に

5月30日(金)、2025年度春の国家公務員総合職試験の最終合格者が人事院より発表され、立命館大学からは62人が合格。合格者数で全国6位、早稲田大学に次ぐ私立大学2位、西日本の私立大学で1位となりました。

立命館大学では、現役国家公務員による講演や政策立案ワークショップなどを通じ、2013年から「立命館霞塾」を開講し、行政リーダーとしての素養を育んできました。また、エクステンションセンターでは、高い合格実績を誇る公務員講座や奨励金制度により、国家公務員総合職を目指す学生を積極的に支援しています。今後も学生たちの進路希望に寄り添いながら、日本の未来を担う公務員の養成に努めてまいります。

## 体育会ラグビー部

### 春季トーナメント優勝！

6月22日(日)、天理親里ラグビー場で開催された「2025年度関西大学ラグビー春季トーナメント」決勝において、立命館大学体育会ラグビー部が京都産業大学を29対12で破り、2016年度の開始以来、初の優勝を飾りました。

島主将は、選手・スタッフが一丸となって初の優勝を勝ち取ったとし、この結果に満足せず、秋季リーグでの関西制覇を目指しますとコメントしました。



## 体育会ホッケー部(男子)

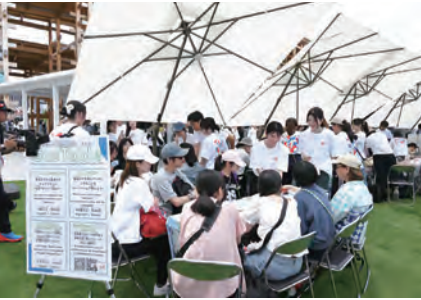
### 全日本大学ホッケー王座決定戦で二連覇

立命館大学体育会ホッケー部(男子)が、7月13日(日)に行われた「第44回全日本大学ホッケー王座決定戦」の決勝戦で、山梨学院大学を3-0で破り、2年連続・10回目の優勝を飾りました。

大会の最優秀選手には、主将の川原大和選手(＃1 政策科学部4年生)が選出されました。



## TOPICS 大阪・関西万博を通じて社会課題に挑む！



### 100名以上が活動する万博学生委員会「おおきに」の現在地

立命館大学では、2023年4月に「おおきに」と名付けた万博学生委員会を発足しました。大阪・関西万博のテーマプロジェクト「いのちの遊び場 クラゲ館」と連携し、学生自身が社会課題に取り組むインバクトメーカーの育成をめざしています。学生メンバーは、食・環境・コミュニケーション・多文化理解・日本文化の5分野に分かれ、食品ロス問題や植物性食の普及、環境意識の啓発などをテーマに実践的なワークショップを企画・運営しました。

学生主導のワークショップコンテストを開催し、中島さち子プロデューサーや企業からのメンタリングも受けながら改善を重ねました。企画・参加した学生たちは万博終了後もこの活動を通じた社会貢献を続けていきたいという意欲に満ちています。

# 未来を切り拓く研究

## 令和6年度「宇宙戦略基金事業」SX 研究開発拠点に採択

立命館大学は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の令和6年度「宇宙戦略基金事業」において、1月31日(金)、「技術開発テーマ・SX 研究開発拠点(課題名：月面探査・利用を産業化するための宇宙機器開発・人材育成拠点)」に採択されました。2023年7月に設置した立命館大学宇宙地球探査研究センター(ESEC)を基盤に、月・火星面を再現した研究環境と月面開発のための地表・地下の探査・調査技術の開発を通じて、大学・研究機関・企業と連携して産業クラスター形成や宇宙人材育成を図ります。宇宙産業の国際競争激化を背景に、本事業は革新的な研究成果の創出と社会実装を推進する拠点整備を目的としています。本学は「ダスト環境試験チャンバー群」「レゴリス分析装置群」「月面模擬フィールド群」「月面統合シミュレーションプラットフォーム」から成る日本版「Dust Testing Facilities」を整備し、探査機器「コアサンプラー」「ボアホールプローブ」「レゴリスTG-DTA」などを開発します。さらに、これらの研究環境や技術を非宇宙分野を含め広く提供することで、関西発の「わかりやすく、利用しやすい」研究開発拠点を構築し、月面開発の具体化と持続的なイノベーション創出に貢献します。実施期間は2025年4月～2032年3月(最長7年)です。



角南篤プログラムオフィサーから盾を受け取る研究代表者の佐伯和人教授(宇宙地球探査研究センター長・右)

## 立命館大学研究者が文部科学大臣表彰(科学技術分野)「若手科学者賞」を受賞

4月8日(火)に文部科学省から発表された、令和7年度科学技術分野の「文部科学大臣表彰」において、立命館大学国際関係研究科の越智萌准教授、生命科学部の竹俣直道准教授、ならびに総合科学技術研究機構の元村一基准教授が「若手科学者賞」を受賞しました。「文部科学大臣表彰(科学技術分野)」は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた方へその功績を讃えることにより、科学技術に携わる方々の意欲の向上を図り科学技術水準の向上に寄与することを目的としたものです。その中でも若手科学者賞は、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた40歳未満の若手研究者個人へ贈賞されるものです。



越智准教授



竹俣准教授



元村准教授

## BKCにCVIC/GICが竣工 ー地域・社会と共創する次世代研究・イノベーション拠点ー

びわこ・くさつキャンパス(BKC)において、大学発スタートアップを創出するオープンイノベーション拠点「グラスルーツイノベーションセンター」(通称：GIC・ジーアイシー)および次世代研究大学の実現に向けた新たな拠点「立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ」(通称：CVIC・シビック)を開設しました。7月28日(月)には、経済産業省、滋賀県、草津市、国立大学法人滋賀医科大学、独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社村田製作所などから来賓を迎え、GICのオープニングセレモニーを開催しました。式典ではGICへの期待や今後の連携についての挨拶が述べられ、続いて、施設の設立背景や機能が紹介されました。式典後は、今後展開予定のプロジェクトの紹介、施設案内を実施しました。

立命館大学は、両施設を核とした研究・教育・社会連携の展開を通じて、知の共創と社会実装を推進していきます。



### CVIC

2023年度に文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択され建設が実現しました。また2024年度に文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の採択により、現在機器の整備を進めています。CVICではリアルとバーチャルが高度に融合する社会における心身の変化やELSI(倫理的・法的・社会的課題)などに関して学際融合により解明・研究する「身体圏研究」を推進します。GICとの連携により、研究成果の社会実装を加速させることが期待されています。

### GIC

経済産業省「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」事業に採択され、オープンイノベーションとインキュベーションの両機能を備えた施設として整備されました。1階には、STEAM教育やアントレプレナーシップ教育の展開、試作やアイデアの具現化を支援する「GIC Fab」や、地域・企業との連携を促進するコワーキングスペースを設置。2階には、起業を目指す研究者や学生が利用できる個室(ウェットラボ)や共同利用できる分析機器が設置された共用ラボ、登記可能なラウンジが整備され、多様な人材の交流と価値創出を支援します。